

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
蒲生地区

平成25年2月

鹿児島県姶良市

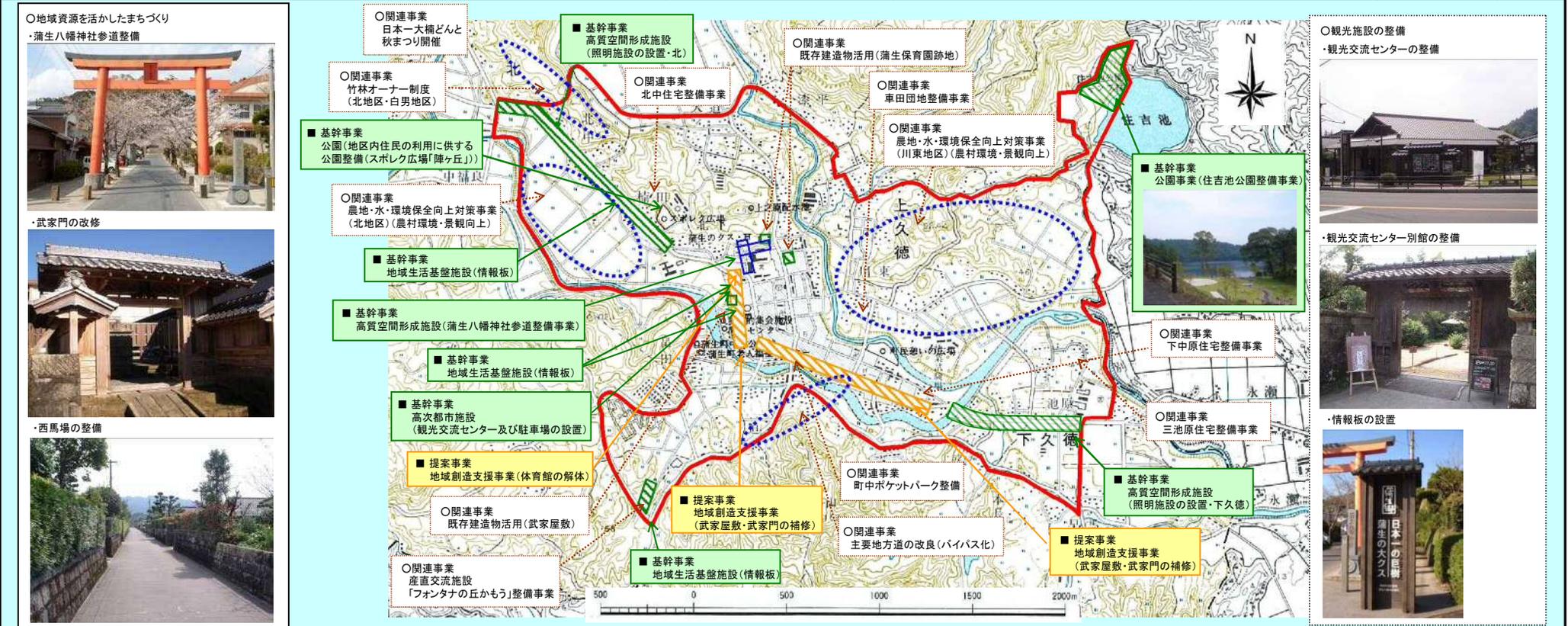
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県		市町村名	始良市		地区名	蒲生地区		面積	455ha			
交付期間	平成20年度～24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	389.9(百万円) 国費率 0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	公園(住吉池公園)、公園(スボレク広場)、地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(蒲生八幡神社参道)、高質空間形成施設(照明施設)、高次都市施設(観光交流センター)									
			提案事業		武家屋敷・武家門保存事業、日本一大楠どんと秋まつり補助、蒲生町体育館解体								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路(「道の駅かもう」敷地内)、高質空間形成施設(「道の駅かもう」敷地内)		関連事業(民間)による整備に変更。			影響なし。				
			提案事業	蒲生町小型マップ・武家門マップ作成		事業実施スケジュールの変更による本計画からの削除。			影響なし。				
新たに追加した事業		基幹事業	-		-			-					
		提案事業	-		-			-					
交付期間の変更		当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	観光入込客数	人/年	232,000	H18	316,000	H24	-	562,755	○	あり	地域資源を活かした整備や住民と行政協働による魅力ある空間の形成、地域住民・NPO法人等によるイベント等の企画・運営等によって、地域の魅力が高まり観光客数が増加していると考えられる。	平成25年7月頃
	指標2	地区内定住人口	人	4,200	H18	4,300	H24	-	4,308	○	あり	関連事業の住宅整備事業による住宅ストックの増加に加えて、地区内住民の利用に供する公園整備等による住環境整備により、人口が増加していると考えられる。	平成25年7月頃
	指標3										あり		
指標4										あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	「まちづくり」に対する意識の向上	点	0	H18				0.84			住民と行政が協働で本地区のまちづくりを検討し、その検討内容を住民と行政で進めた本事業を通じて、住民の「地域への愛着」等が高まっていることが確認できた。	平成25年10月頃
	その他の数値指標2	住環境に対する満足度の向上	点	0	H18				1.02			住環境を高める事業や地域資源を活かした住民と行政協働のまちづくりの推進によって、住民の定住意欲が非常に高まっている状況等が確認できた。	平成25年10月頃
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	<p>・本事業の取り組み等を通じて、観光ルートが明確になったことで観光ボランティアガイドが発足し、整備した観光施設を活かした観光面の体制強化が図れた。</p> <p>・県と連携した整備(観光拠点施設の駐車場整備)によって、大型バスによる観光客(遠足、修学旅行、民間ツアー等)を取り込めるようになった。また、道路の大型バス等の路上駐車がなくなり、観光と生活環境の両立に寄与できた。</p>												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
	住民参加プロセス		<ul style="list-style-type: none"> 住民と行政の協働による『蒲生地区における地域活性化のための取り組み』の検討・協議 住民と行政協働でまち並みを形成していくための取り組み 				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				<ul style="list-style-type: none"> 今後も住民と行政協働のまちづくりの推進を図る。 今後も住民と行政協働によるまち並み形成の推進を図る。 		
持続的なまちづくり体制の構築		<ul style="list-style-type: none"> NPO法人等や地域住民を中心とした、地域活性化を図るまちづくり体制の構築・強化 				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				<ul style="list-style-type: none"> NPO法人等と連携を図り、地域住民を含めた地域活性化に努める。 			

様式2-2 地区の概要

蒲生地区(鹿児島県始良市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
都市部との交流人口の増加を図り、将来的には交流人口を定住人口につなげる。 ・〈整備目標1〉日本一の巨樹「蒲生のクス」を中心とした中心市街地の魅力向上を図り、鹿児島県本土の中心部に位置している地理的優位性を活かし、都市住民との交流促進による地域活性化を図る。 ・〈整備目標2〉住環境の魅力向上を図り、安心して暮らせるまちづくりを行い定住促進を図る。	観光入込客数	232,000	316,000	562,755
	地区内定住人口	4,200	4,300	4,308
	‘まちづくり’に対する意識の向上	0		0.84
	‘交流施設拠点’の利用者数	0		1.02



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公共空間のみならず民地の「武家門改修」に至る範囲で、住民と行政が協働となり、地域資源を活かした面的に魅力ある空間が形成されてきている。また、地域住民・NPO法人等では、蒲生の魅力やイベント情報の発信、それらイベント等の企画・運営を継続的に実施している状況にある。 これらの取り組みによって地域の魅力が高まり、観光客数が増加している。 関連事業の住宅整備事業による住宅ストックの増加に加えて、本事業の地区内住民の利用に供する公園整備や地域の資源を活かす整備によって、住環境および居住する‘まち’としての魅力向上が図られてきている。 その結果、住民の住環境に対する満足度や定住意欲が高まっていることが確認できた。但し、住民の住環境に対する満足度や定住意欲を持続していくために、本事業等による既存ストックを有効活用していくための維持管理が課題である。 観光拠点、観光ルートの整備等によって、団体・ツアー客以外に少人数での観光客も増加してきている。団体・ツアー客に対しては、事前要望があれば観光ボランティアガイドにより観光案内を行っているが、少人数の観光客の場合、突然来られることから、「少人数で来て楽しめる観光の体制づくり」が必要となってきている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域住民・NPO法人等への側方的な支援を図り、地域活性化に留意する。 満足度や定住意欲が低下しないように、良好な居住空間の確保に努める。 既存ストックを効果的に活用していくための維持管理を図る。 「少人数で来て楽しめる観光の体制づくり」の実現を図る。